



NO. 67

H5.1.1
 一新
 〒869-12
 熊本県菊池郡
 大津町森54-2
 社会福祉法人
 三気の会
 三気の里
 TEL096
 293-8100

一九九二年

理事長 田中 稔

今年も残り少なくなりました。毎年この時期になるとテレビ、新聞等で各分野での一年の出来事の順位づけ等の記事が出てきます。

一九九二年、私にとつていくつかの嬉しい事がありました。その一つはかねてより構想を持っていました「三気の里」の30名増員による80名入所施設への道が開けそうだという事です。現在は定員通りの50名入所中ですが、入所を必要とされている方がすぐそこに控えておられます。又、建物も十分な所があり、バランスのとれた物にしたいと考えていました。今回の増員については外来療育相談棟も併設出来る事になっていきます。開かれた施設作りという当初から

の方針が又一步実現へ近づきます。

次に十数年に渡って、実質的に熊本県自閉症児者親の会を支えてこられた下出副会長(当法人、監事)が2度の大手術の後、先日元気に社会復帰された事です。下出さんなくして親の会はなかったといつても過言ではありません。障害児の親という意識が再び元気になる強い意志になった様です。親達は出来るだけ元気で長生きしなくてはという想いがあります。日頃より健康への関心の大切さを改めて想い知らされました。今年一番の嬉しかった事です。

他に今年も幾つかの嬉しくなる様な《本》との出会いもありました。その中に最近出た『見えない病、自閉症者と家族の記録』(晶文社)という本があります。

これは、一九四三年アメリカのカナー医師が初めて自閉症児の症例報告を発表した時、既に二十才を越えていた自閉症の兄を持ち、その兄の姿を五十年以上も見続け、しかも自分の息子が自閉症児という体験を持つ米国人チャールズ、ハート氏著書の日本語訳です。氏は現在アメリカ自閉症協会の機関紙『代弁者』の編集に携わっています。本の内容についてはいつか紹介したいと思いますが、私に、もし才能があれば書いておきたいと思っていた様な本です。親、肉親の側から見た自閉症児者を取りまく緒状況が感情を押さえて見事に書かれています。

年々、いやな事や不愉快な事はすぐ忘れられ、嬉しかった事や楽しかった事の方が心に残る様になると気持ちの持ち方が出来る様になっていきます。来年が皆様にとつても嬉しい事に浜山出会える年になります様にお祈り致します。



療育シリーズ

かかわりを持った援助

園長 土井尚典

ある研修会で「園生によりかかわりを持った援助、かかわりの姿勢、理解把握の仕方」という質問を受けた。そのときは、時間がなかったこともあって、園生をいかに良く知るか、知る方法、自分のかかわりはどうかを知る方法など、園生一人一人が違うのかかかわりを持つための予備知識（観察）のような事を話した。

後で考えてみて、不十分だったと思ったので考えをまとめることにした。そして、これで良いのか助言を戴きたい。

私の友人で高校の先生がいる。彼がよく言う言葉に「打った方が良い子と打つたらいかん子がいるもんな。」「勉強せん子を家に連れて来て勉強させると“生まれて初めてこぎゃん（こんなに）勉強した”と感動する子がおるとよ。」

奥さんに「大変でしょう。」という「可愛いかですよ！卒業しても便りばくれるとです。」この話を聴くと目の前にいる一人一人の子供を良く知らなければいけないし、子供に接する心がいるようである。もうひとつ、生徒との接点は勉強である。

三気の里でケース会議をすると、その後ケース会議に上がった事例の園生が急に良くなることが多い。ケース会議で統一の方針が出ないで再会議になった事例でも園生の状態が良くなる。このことは他の指導員がその園生を良く知った事と当該園生に職員の注意や関心が集中することにある。担当の指導員だけでなく園生にかかわりを持つ人全員が当該園生を良く知り、関心を持つだけでも成長を援助出来るのであろう。

園生が一番欲しいかかわりは保護者であろう。保護者のかかわりの接点はたくさんある。もし、療育という接点をもたないと施設と

かみ合わなくなる。保護者同士もかみ合わなくなる。職員と職員も同じことが言える。園生へのかかわりは何をどう言うふうにかかわるかでありその点で療育者側（大人達）同士のかかわりがなくてはならない。

「よいかかわり」は特別の方法があるのでなく、目の前にいる園生にどういう風にかかわりどう援助するか、同じ悩みやテーマを共有して、時には間違えることがあっても行動することであるようだ。

もっと、簡単に言うると「一人一人の園生の療育から目をそらさなければ良い」ようだ。



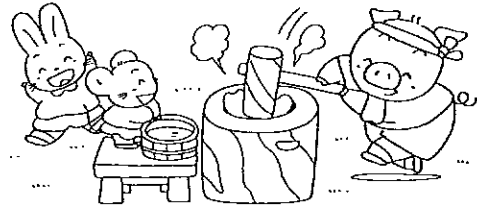
もちつき大会

東 正実

12月12日(土)曇り、早朝から多くの父兄に集まって頂き、三気の里恒例の餅つき大会が行われました。例年14〜16升の餅米をっていたのに、今年は40升!のんぎ者の実行委員は、その時になって少し慌てはじめ、予定をくり上げて餅をつくはめになりましたが、ご父兄・来園されていたゲートボール協会の方々のおかげで、無事つき上げる事が出来ました。又、職員の方を、ご父兄に覚えて頂くとうと企画した自己紹介も、自称「美男・美女。」が山ほど出る中、笑いの内に終える事が出来ました。

『待つ』のが苦手なみんなも、何となくのどかな雰囲気の中でのんびりと待つ事が出来、”すごいなあ〜!”と感動したり驚いたり一日でした。もちろん、みんなの食べっぷりはそれ以上のものですが…。参加して下さった皆さん、ご協力ありがとうございました。

ん、ご協力ありがとうございました。



ミュージカル

坂本信子

十二月二日、劇団四季によるエルリックコスモスの239時間を三気の里の園生、職員全員で見に行った。とにかく三気の里では初めての事で、園生よりも職員の方が行く前から緊張ぎみ。当日、大津高校の御好意で大型バスをお借りし、いざ出発。2時間という長い時間をどう乗りきるか…。そんな厳しい顔をして職員は座っていたが園生の皆はずずやかな顔。強

烈な躍りや音楽に魅せられながら無事に前半終了。後半は”まだあるのか”と少々イラついた人もあったが、とにかく華やかなフィナーレとともに、閉幕。「よかったね。」「楽しかったね。」と口々にさやきあいながら県立劇場を後にした。

熊本社会福祉専門学校の先生、又たくさんのボランティアの方々お世話になりました。

最後になりましたが、この度のミュージカルは、日産労連よりご招待頂きました。本当に有り難うございました。



ぼらんていあ通信

今年もいよいよ残りわずかとなりました。今年も多数のボランティアさんにはお世話になりました。来年もボランティアさんと園生共に楽しめる様な場を数多く持てたいらと思っております。来年もどうぞ宜しくお願いします。 山中

ボランティアありがとうございます

☆観劇

荒木順子	岩村直樹	歌野英司
榎本明美	大塚幸弘	鹿末茂勝
清田勝己	黒田賢臣	小堀宏幸
坂井美佳	下田隆雄	白石亜紀
杉本知玲	杉本美恵	高木洋美
千代島親志	佐々木英介	
中根留美	中村亜紀	長尾美幸
か田広美	橋本育弥	橋本順子
富田いずみ	吐合登美恵	
東ユカリ	原田茂樹	前川孔志
前田啓介	前田千春	松下洋一
松永佳子	松本健一	松本美和

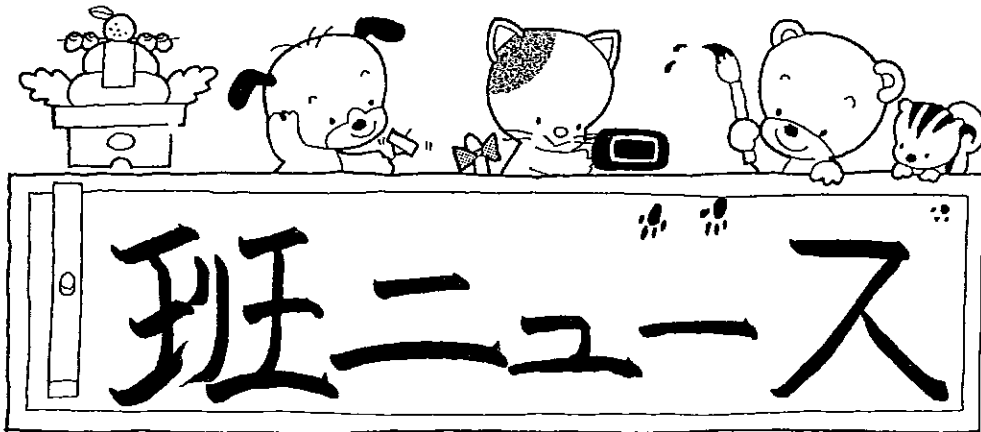


溝口章道 溝口賢史 村上健造
 小島二郎 片桐新恵 中村洋子
 深水みどり 木庭富里子
 宮中ふじ子 永広富士子
 山本真由美 三根順子
 田中美恵子 田畑千代子
 ☆壁面装飾 平田由美
 ☆一日ボランティア 丸野瑛子
 ※敬称略

食堂営業中

月日のたつのは早いもので1992年も終わりに近づいてきました。一年を振り返って見ると、いろいろなことがありました。4月には、新人2名を迎えて厨房職員は5名になり、新スタート。献立には新しい料理が登場し、行事・レクの弁当など工夫をしたりして、みんなの反応をうかがったり。9月にはベテランの田辺さんが辞められ、4名になりましたが「みんなまで頑張ろう!!」と意気投合して「失敗は成功の素」を合言葉に、新しいことに挑戦してきました。今年一年、無事食堂営業できたのも事務・指導員の方々に協力いただいたおかげです。そして、お手伝いしてくれた由美ちゃん・中嶋くん、泰成くんありがとうございます! 来年もよろしく願います! 金丸





1 班 ちゃんこ鍋でお相撲さん気分?!

一年間のしめくりとして12月のレクリエーションは、お父さん・お母さんを交えての恒例の忘年会をしました。今年は、和風にお鍋を囲み、カラオケも付けて賑やかな宴となりました。お刺し身やちゃんこ鍋で満腹になると、待ってましたとばかりに、久美ちゃんがトップバッターで一曲、カラオケは苦手とおっしゃるお父さんお母さん方も青春の頃の歌や演歌で、自慢の喉をふるって下さいました。憲ちゃんや雄ちゃん達もマイクを向けると一声、忠ちゃんも十八番の歌で一曲、歌に合わせて踊る宣陽さん、お母さんの横で応援するひろちゃん、聡ちゃんと皆それぞれに楽しんだ一日でした。そろそろ会も終わる頃には、勝ちゃんのお腹はパンパンで、一度ゆるめたベルトが絞まらなくなる程でした。最後になりましたが、忙しい中、参加して下さいましたお父さんお母さん方ありがとうございました。

山口

2 班 あつあつお好み焼き

ジュー・ジューとおいしそうな音が、あちこちから響いてきました。鉄板のはめ込まれた4つのテーブルを前に勢揃いした2班の皆。はたして、その顛末は?

メニューを覗いて、すぐ食べれるようにと半分は焼いてもらった。エビ・イカ・タコのみじったお好み焼きが不器用な職員の手(私だけなのだが!)で焼き上がる。その間、整然と待つ彼らを見て感動したのは、私だけではなかっただろう。

今年は、チャレンジの年として、登山、沖縄飛行機旅行、新しい作業とやってきた。その度に新しい発見をし、頑張ったんだなと焼きながら思った。少々までどったが1時間以上もゆっくりお店に居れた。

外はクリスマス色、吊り下げ広告見て「パズルだよ。」と声をかけると、「パズル。」とつぶやいた、彼女の笑顔がとても素敵だった。

坂井



3班 “逃亡” 年会

今年の3班忘年会は、高森町にあるペンション根子岳山想へと出掛けたのです。山小屋風の建物が、周りの風景にマッチし、とても素晴らしい所ではあったのですが、3班みんなを最初に出迎えてくれたのはなんと、根子岳山想の飼い犬だったのです。犬を見るなり大声を上げて逃げ惑うマー君や、小屋の柱にとびつき「あっち行け」と叫ぶまこちゃん、花壇に身をかくす新ちゃんといういろいろでしたが子犬から助けてやるのもバカらしいとため息をつく職員でした。ちなみに本人達は真剣でした。その後は緊張もほぐれてペンションの豪華なコース料理に舌づつみを打ち、とてもおいしく頂きました。好き嫌いであり食べなかった憲ちゃん満足できたかな。来年も又、みんな元気で頑張ろう。

田之上

4班 忘年会

冬到来、毎日毎日畑に出て作業をやっている4班には試練の季節がやって来ました。(…と思っているのは冬が嫌いな私だけでしょうか。)作業服の上からヤッケを着込み、軍手をしっかりはめ、耳と鼻を真っ赤にしながらい白菜・大根・キャベツの収穫、漬け物作りに励んでいます。

そんな皆の頑張りを労って、去る12月4日、5日天草の下田温泉へ一泊二日の忘年会に出掛けました。『忘年』の意味を辞書でくってみると、1つは『年齢の差を忘れること』2つめは『年末にその年の労苦を忘れること』と書いてありました。旅館では皆、楽しく飲んで食べて唄って踊って、文字通り年の差を忘れ、今年の労苦を忘れた楽しい忘年会でした。

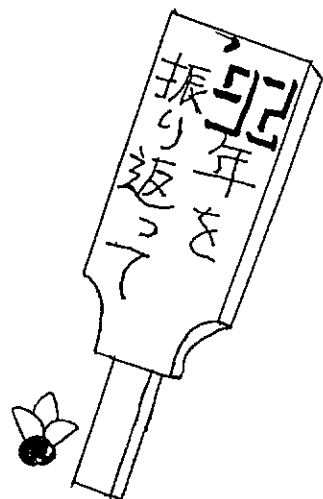
三池

外作業班 早くこいこい “忘年会”

3月に3人の新メンバーを迎え、去年よりちょっと大きな班になった外作業班。8人寄せばわいわいとにぎやかで、世間話に花が咲きます。そんなみんなに「今年、楽しかったことは？」と尋ねてみると、やっぱり出て来るのはレクレーションのこと。ゆみちゃんやさゆりちゃんは山の奥の奥まで行った紅葉狩が良かった、修ちゃんはスペースワールドが良かったと思い出してニコニコ。作業のほうでも、にんじんの収穫をしたこと、栗拾いをしたこと、庭木の手入れをしたことが楽しかった作業のベスト3でした。

みんなより一歩進んだ日課をこなしながらしっかり頑張っているみんなと、今年締めくくりのレクレーションは、やっぱり忘年会。おいしいものを食べて、温泉に入って今年の疲れを癒します。そして又来年も頑張ろう。

平川



園長 土井尚典

障害者十年が今年で終わった。

終わっちゃ困る。来年からは自閉性障害者十年にしよう。十年経ったら終わったで困る。二十年先も考えよう。いやいや一人一人に十年先、二十年先を考えよう。誰が考えるのかな？

田邊剛政

今年をよく研修へ出させて頂きました。鳥取へ2泊、箱根へ4泊と期間はあったのですが観光する余裕がなかったのが残念です。しかし来年は研修で学んだことを実践で生かし、園生と共に自分も向上して行きたいと思えます。

山口悦子

今年、結婚で生活が変わり、妊娠で体形が変わり何かと変化にとんだ一年でした。仕事でも、新しい作業に取り組んだり、畑の作物もよくとれたり、充実していました。来年は、いよいよ母親になります。自覚をもって頑張りたいと思えます。

平川聖子

振り返れば、楽しかった事ばかり浮かんで来るこの一年。6年目にしてやっと園生に近付けたような気がします。

もっと、ENJOY!

多田麻紀

色んな事が落ち着いてきたように思う。

ますます月日の流れの速さを感じている今日この頃。92の私は、たくさん笑って元気に過ごしたが、やり残したことは多い。笑ってばかりはいられない。来年は形を残したい。

東 正実

今年2月末に入院し、2ヵ月間動けなかったのが、ずっと尾を引き、一年間体調不良の年となりました。生きていくうちには、このような年もあるだろうと用心。ガマンの一年でしたが、来年は体をつくり元気な一年にしたいと思う今日この頃です。

橋本加代子

今年、農耕班に移って2年目で、作業にも慣れ、みんなと一緒に楽しい一年を送ることができた。作物も計画通りにでき、収穫までうまくいったので、来年は、何を作ろうかなと今から楽しみである。

高津美和

20歳になったこの年は、初めて体験する事ばかりで、その度に色々な発見や驚き等があり、充実した一年になりました。

この一年の出来事一つ一つは私にとって、どれもいい思い出として心に残っています。

高木道子

この一年をふり返って見ると本
当にいろいろなことがありました。
自分なりに一所懸命になれた充実
した年であったように思います。
来年もいろいろなことにトライ
して、少しずつでも成長してゆけ
ればと思っています。

三池真奈美

今年マラソン大会出場、親友
の結婚、実践キャンプ、東京での
研修etc.。他にも楽しい事が
たくさんあり、公私ともに充実し
た一年になりました。来年も、一
年を振り返る時に楽しい事がたく
さんありますように!!

金丸綾子

今年もあつと言う間に過ぎてし
まい、一年が2倍ぐらいあればい
いのにと思うこのごろです。今年
も色々大変なこともあったけれど
も来年はもっと楽しく充実した一
年にしたいと思えます。
来年も頑張ります!!

木下昭二

まずは今年も一年つつがなく終
わろうとしていることに感謝。開
園6年目に入り充分な基礎固めよ
り前進の年への移行だったはずだ
が今振り返るとウーンと唸ったり、
ウンウンと頷いたり様々のような
気がする。93も楽しく野菜を作っ
ていこう!

砂野征三

倒木の有り難さ

当職員の武藤さん(旧姓)宅よ
り台風で倒れた三十年か四十年程
の杉の木を提供して頂き、三班の
園生とその切り出しに行っていま
す。その材木で施設の作業・増築
又、ログハウス等の貴重な材料と
なり、心より武藤さんにお礼申し
上げます。



事務長 末永博美

法人では、創立5周年記念式典
を盛況に終え、第3回自閉症療育
セミナーも終えた事は、関係各位
のご協力の賜物です。施設では、
入所者が元気で作業等に頑張ら
ました。私も入所者より必要な人
になれるように「のん気」「こん気」
「げん気」を合言葉にガンバリま
す。

田之上健一

92年1月に二児の父となり、う
れしい年でもありました。早いも
のでもう一年すぎてしまったと毎
年思う、今日この頃です。又一つ
年をとってしまおう。
来年も山作業で丸太運び頑張ろ
う。

清田美加

たくさん辛い事があったが、そ
れを乗り越えた時の喜び。：正に
私にとってこの一年は登山をして
いるようであった。二班のみんな
と一緒に沖繩旅行もでき、次は何
をしようかと希望に満ちている。

坂井省英

昨日は明日へのエネルギー、一杯楽しんだ今年。来年は、もっと楽しんでみたい。

出来ない事にチャレンジ、やっぱりそれが私らしいようだ。

来年は何をやるうか、今から楽しみだ。ファイト!

高田智香子

ステキな仲間と出会うことが出来とても良い一年でした。

仕事ではケガで随分お休みしたので、まだまだ半人前ですが、来年は園生のことをもっともっと奥深く考えられる指導員になれるように頑張ります。

山中美津代

“今年”を振り返ろうと机の前に腰を降ろすと、今年一年がどつと私の肩に乗りかかります。(重い!!) 年々重量が増す気がします。(重!!)

今年も相変わらず“好奇心の虫”が騒ぎ出し海の中へ：来年は果てさてどんな虫が騒ぎ出すやら：?!

坂本信子

今年の私はクラシックオンリー(本当はウィーン少年合唱団。)に染まってしまった。掃除中のうるさい又は、感動的な音楽は私です。みなさん、うるさくてご免なさい!! こだわりでしたら止まらぬ私。さて、このこだわりは何処まで続くのでしょうか?

津江 香

成人式、卒業、就職とあわただしい一年でした。自分の中に、「ゆとり」がなかったような気がします。来年はもっとゆとりを持って、今年よりもさらに楽しくみんなと一緒に過ごしたいと思います。

高橋千草

今年一番うれしかったことは2班のみんなやお母さん達と沖繩に行けたことです。

来年は、IEPや動作法をもっと勉強して指導の役に立つよう頑張ります。来年もやろう会ともどもよろしくお願ひします。

前田はる美

92は「何事も経験」で、とまどいばかりの年でした。8ヵ月たった今でも失敗だらけでいろんな方々にご迷惑をかけています。また園生のみんなどもだいぶ仲良くなれて毎日が楽しく、充実した日々が送れたと思います。

日置朋子

この原稿を書くのも4回目。今年もいろんな事がありました。いろんな出会いがありました。女の厄年だった私は健康で過ごせた事が一番の年でした。来年も健康で頑張りたいと思ってます。

今村由紀

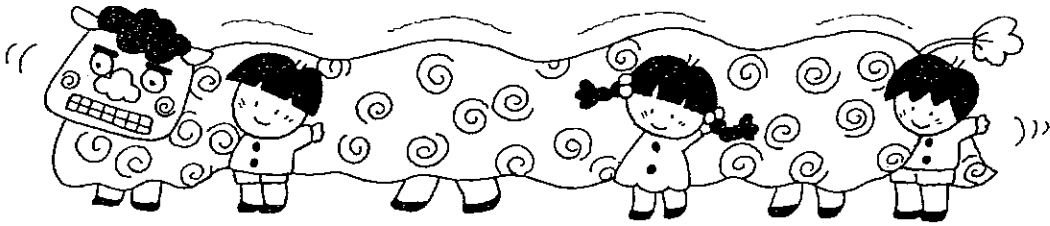
この一年、いろんなことがありすぎました。一番怖かったのは、長崎の研修の前夜に停電してエレベーターの中に閉じこめられたことです。

来年は、楽しい一年になるといいなあ。頑張ろう。

※順不同

1月の行事予定

1(金) 回冬季帰宅訓練中	17(日)
2(土)	18(月)
3(日) 初顔合わせ	19(火)
4(月)	20(水)
5(火) 帰園日	21(木) どんどこや
6(水) 体重測定	22(金)
7(木)	23(土) シーツ交換
8(金)	24(日)
9(土) シーツ交換	25(月)
10(日)	26(火)
11(月)	27(水)
12(火)	28(木)
13(水)	29(金) 大掃除
14(木)	30(土) 回帰宅バス運行
15(金) 回成人式 誕生会 防災訓練	31(日)
16(土) 帰宅日 父兄会 療育相談日	



お礼

浜永さんより梅の木を頂きました。有り難うございました。

後援会入会

ありがとうございます

笠井恭介

隈本 亨

十二月十八日付け

※敬称略

師走、皆様にはご多忙のことと思えます。

一年間たくさんの方々に後援会入会とご支援をいただきました。本当にありがとうございました。

来年もどうぞよろしくお願い致します。

編集後記

いつもはスムーズに進む編集も今日は何故かひっかかりがち。夜もふけてゆくのに、終わるのはいつのことやら…。

今村